

第5回 第二次いわき市都市計画マスタープラン等策定委員会

議 事 要 旨

■ 日 時

令和元年8月7日（水） 14:30～15:30

■ 場 所

いわき市役所 第8会議室

■ 出席者

- ・ 委員（19名）
 - ・ 齊藤委員 ・ 瀬戸委員 ・ 馬上委員 ・ 金成委員 ・ 石井委員 ・ 越智委員
 - ・ 武田委員（代理：小野氏） ・ 安島委員（代理：里見氏） ・ 鈴木委員
 - ・ 青木委員 ・ 門馬委員 ・ 吉田委員 ・ 佐藤（孝）委員 ・ 田子委員 ・ 石津委員
 - ・ 田中委員 ・ 助川委員（代理：小谷野氏） ・ 富永委員 ・ 箱崎委員
- ・ 柳田オブザーバー（東北地方整備局 建政部 都市・住宅整備課長）
- ・ 中村アドバイザー（日本大学 理工学部 土木工学科 教授）
- ・ 事務局
都市建設部都市計画課
- ・ その他
報道関係者等

■ 会議の流れ

1 開会

- ・ 司会より開会の宣言

2 協議事項

(1) 両計画案の取りまとめ（パブリックコメント及び公聴会の結果）について

→ 事務局（都市計画課）より説明

(2) ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けた誘導施策の検討状況について

- ・ 市街地の再生に係る施策
- ・ 都市機能誘導区域内に係る施策
- ・ まちなか居住区域内に係る施策
- ・ 土地利用の促進に係る施策（容積率緩和）
- ・ 交通ネットワークに係る施策
- ・ その他の施策

→ 事務局（都市計画課）より説明

(3) 今後の策定委員会のあり方について

- ・ 今後の評価等専門委員会設立など
- 事務局（都市計画課）より説明

3 その他

今後は、10月上旬にいわき市都市計画審議会に諮り両計画を公表予定

4 閉会

■ 委員からの主な意見と事務局の考え（要旨） ○：委員 ⇒：事務局

- 今回のパブリックコメントでは意見が5つ、公聴会では公述人0名という結果であるが、今後、このような計画策定に係るパブリックコメントの際には、より多くの意見の提出がくるような工夫が必要だと感じる。
- 立地適正化計画の中で「デマンド型交通への転換」という記載があるが、デマンド型交通自体が古いものを感じる。20年以上前からこの言葉が使用されているが、現状としてデマンド交通は行き詰っているのが実情である。例えば県内の自治体でも、デマンド交通から新交通システムに移行している状況もあるなど、「新交通システムへの転換」等の表現に修正してはどうか。
 - ⇒ 記載については、今後のICT技術の活用やMaasなどと連携したデマンド型交通という思いで記載しているところ。直接的にデマンドと記載するかどうかについては、いただいた意見を踏まえ検討したい。
 - ⇒（中村アドバイザー）
大変重要な意見だと考える。意見のとおり、デマンド交通については、様々な問題が出てきているところ。一方、今後はハードのみならず、ソフト技術も含めた新サービスの形が多く出てくる中で、今回の事務局案の趣旨としては、交通が比較的不便なエリアに対する交通サービスの提供という内容でもあることから、そういった施策の狙いが入る記載であれば良い。
- 立地適正化計画の目標値については、今回、若い世代の人口割合を改善ということで、将来予測値を40.1千人（17%）から47.4千人（20%）という具体的な数値を設定しているが、目標値設定の考え方はどのようなものなのか。また、今後どのような取り組みでこの目標値を達成していくものなのか。
 - ⇒ 若い世代の人口割合の改善に係る目標値については、創生総合戦略と整合を図り設定している。立地適正化計画では、市内8つの拠点にそれぞれ誘導施設を設定しており、これはアンケート調査などで特に若い方が望んでいるような施設を想定しているものである。今後は、誘導施設の新規立地に加え、現在立地している施設が撤退しないよう維持していく場合についても、何らかの助成を講じるなど、施策の検討を進めていきたい。